

なんにも
予定がないと、
なんだかいけない
気がしたり。

私たちの暮らし方って、
これでいいのだろうか？
澁谷先生、教えてください。

せっかくの休みだから、どこかに
出かけないともつたいない。
日本ではそう思ってしまう人が
少なくないでしょう。



しかし全く逆の価値観が息づいている
国もあります。たとえばネパールやスリランカ。

近年では日本や欧米のような意識が広がっているのも
事実ですが、予定が空っぽでももっと働いて

稼ごうなんて思わない。むしろ「なんにもしないこと」に
価値を感じているんです。その理由は、彼らの国が

仏教などの宗教をベースに文化や生活、
慣習が成り立っていることにあるようです。こんなふう

時間の考え方ひとつとっても、異なる文化、異なる宗教、
異なる生活は私たちの常識をひっくり返します。

いま私たちがこれからの暮らし方を考えるとき、
異文化を理解することは

ひとつの方法になるかもしれません。

身体環境共生学科

教授 澁谷利雄



和光3分大学

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学